

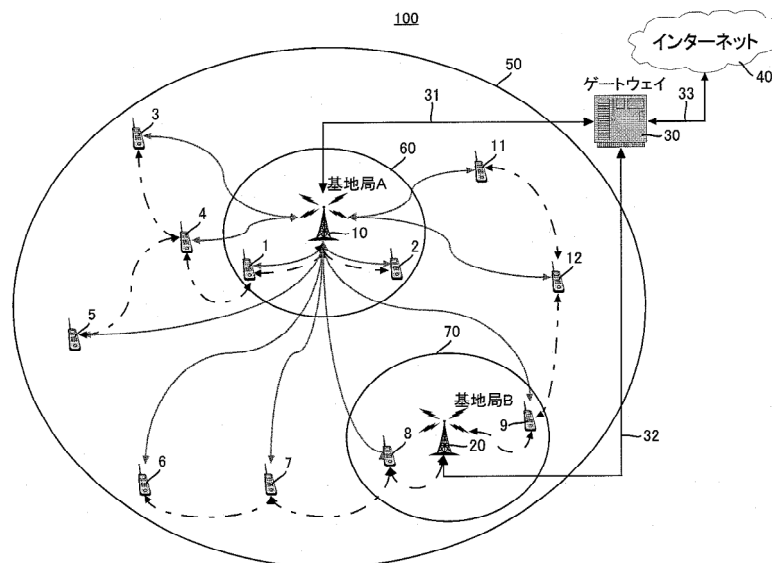
技術の名称

コグニティブ無線ネットワーク

適用分野

携帯電話機、PHS、無線LAN、センサーネットワーク、ZigBee

- 目的 コグニティブ無線ネットワークの通信効率の向上を図る。
- 効果 本発明によれば、複数の無線モジュールと送信先との間で確立される複数の無線経路における複数の平均遅延時間が相互に近づくように複数の無線経路にパケットを分配しているため、コグニティブ無線ネットワークにおける通信効率を向上させることができる。
- 技術概要 相互に異なる無線システムを用いて無線通信を行う基地局と、この基地局に直接パケットを送信する無線装置と、マルチパス・マルチホップによって基地局にmホップ目に位置する第2の無線装置と、マルチパス・マルチホップによって基地局にm+1ホップ目に位置する第3の無線装置と、から構成され、各無線装置には、パケットを基地局に直接送信する第1、第2の無線モジュールと、マルチホップによって基地局へパケットを送信する第3の無線モジュールと、を内蔵しており、第2、第3の無線装置は、3つの無線モジュールによる3つの経路における平均遅延時間が相互に近づくように3つの無線モジュールにパケットを分配している。
- 特記事項、
図など



- 主たる提供特許 特許等の名称 : 無線装置およびそれを備えた無線ネットワーク
登録番号
出願番号 : 特願2008-281207 出願日 : 平成20年10月31日
公開番号 :
- 実施実績 有、 ○無 ■ 提供形態 ○実施許諾、 ×権利譲渡

お問合せ先

株式会社 国際電気通信基礎技術研究所(ATR) 経営統括部 知的財産チーム
〒619-0288 京都「けいはんな学研都市」光台二丁目2番地2
TEL 0774-95-2521 E-mail ; patent@atr.jp